

福島第一原子力発電所現地確認報告書

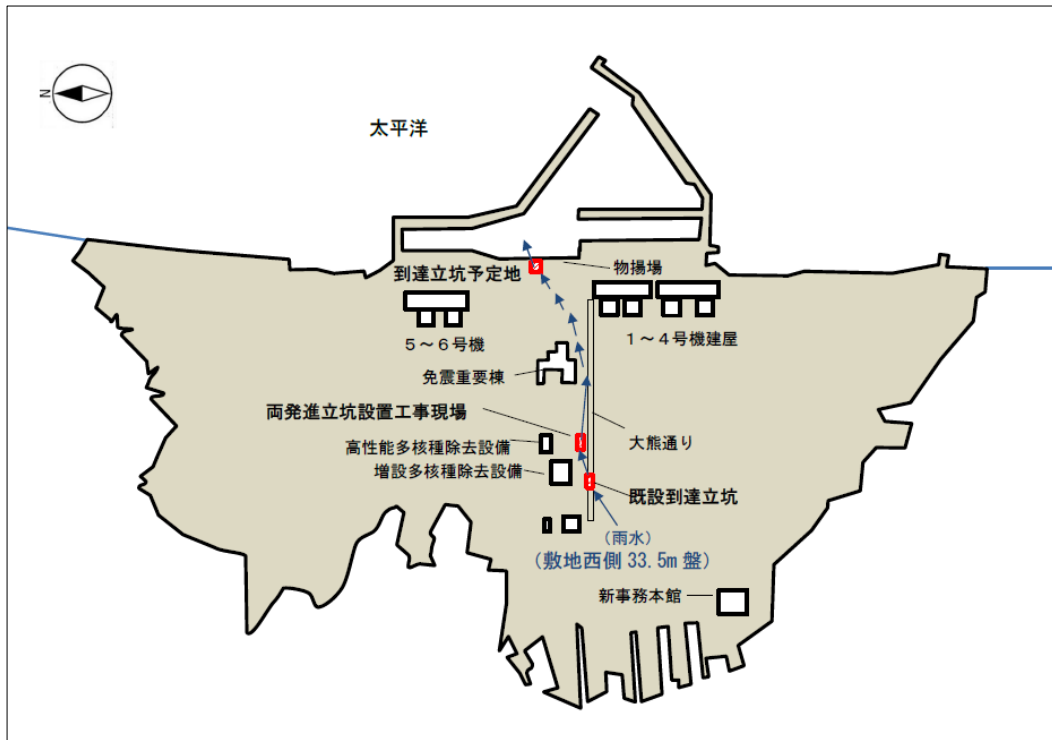
- 1 確認日
令和3年9月2日（木）
- 2 確認箇所
敷地西側の大熊通り及び物揚場付近
- 3 確認項目
D排水路新設工事の状況

4 確認結果の概要

近年頻発している大規模な豪雨に備え、東京電力では敷地西側の33.5m盤から敷地東側の1～4号機建屋周辺に流れ込む雨水による浸水リスクを低減するため、敷地西側から物揚場前面海域まで総延長約800mのD排水路（雨水排水トンネル）の設置を進めている。

前回の現地確認（[令和3年5月14日](#)）では、上流及び下流両方向にトンネルを掘り進めるための両発進立坑の掘削工事が開始されていたことから、その後の状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・両発進立坑の掘削は完了していた。底部にはトンネルを掘削するための推進機が搬入され、また、トンネルに管を押し込むためのジャッキが据え付けられていた。（写真2）
- ・物揚場近くの下流側到達立坑予定地には、前回コンクリート殻が仮置きされていたが、今回は撤去されていた。（写真3）
- ・上流側となる敷地西側の既設到達立坑付近では、前回地下の支障物撤去が行われていたが、今回は埋め戻され敷鉄板が敷かれていた。（写真4）
- ・東京電力によれば、来年度の台風シーズン前までを目標に1～4号機建屋周辺の浸水リスク解消を目指すとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



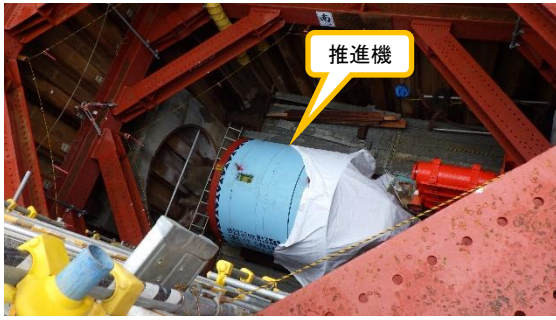
(写真1)
両発進立坑の工事現場の状況
(東側から撮影)



(写真2-1)
両発進立坑の状況
(令和3年5月14日撮影)



(写真2-2)
同左
(令和3年9月2日撮影)



(写真 2 - 3)
両発進立坑底部の状況①



(写真 2 - 4)
両発進立坑底部の状況②



(写真 3)
下流側の到達立坑予定地の状況
(コンクリート殻は撤去されていた。)



(写真 4)
上流側の既設到達立坑付近の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。